

テーマ： 男はスカート?!女はズボン?! 身近な異文化理解

ファシリテーター（グループ）： 異文化理解チーム

ファシリテーター（参加学生）

宮川穂菜美 五十嵐さくら 吉田恵理 佐藤衣里子 佐藤早紀 小田光

1：本テーマの趣旨

普段の生活の中で持っている「思い込み」が、他者とのコミュニケーションを阻害する要因になってしまうことがある。

これを「スカートは女性が履くもの」というジェンダーの例を挙げて考えることで、他者とのコミュニケーションで大切なことを考えてみたい。

2：本テーマの目的

私たちのなかの常識が「思い込み」だった場合、それがコミュニケーションの妨げになることなることに気づくこと。

そして、身近な人を理解することから外国の文化も理解し、異文化への興味を広げられるようになること。

3：本テーマをとりあげる理由

思春期を迎える前の中学生に、「男らしさ」「女らしさ」とは何かを少しでも考えるきっかけになるよう、最初に「スカートをはくこと」を切り口にし、身近な例から異なる文化を体験する機会となるようにしました。中学生にはいじめの問題もあるため、外国人・日本人に限らず、相手に対する偏見や差別をなくし、自分の行動を見直してほしいと考えています。

4 : 活動過程 (使用時間 : 110分 参加人数 : 35人 (33人) 男子20人、女子13人)

過程 (所要時間)	活動内容とそのねらい	ファシリテーターの支援活動 (教材, 発問, 説明, 指示)	使用する教材	生徒の予想される反応. その他, 注意事項
アイスブレイキング (20分)	あいさつ グループ分け (名札の色ごと) カード de 自己紹介	男女同じ数ずつグループ分けるようにする。(男子のみのグループあり) グループで自己紹介をしましょう。今日はこのカードを使って、今どんな気分か教えてください グループの名前を決めてみよう	写真カード	最初にしっかりと注目を集める あいさつは一番大きな声で ざわざわし始めたらヘルプが注意を促す 自己紹介は生徒と同じ目線で
導入 (30分)	普段の生活の中にある「当たり前」を疑ってみる ・今回は例として、浴衣やスコットランドの民族衣装を例に挙げる。 ・世界のマナーを紹介 ・思い込みによる誤解とトラブルを考える	・スカートは女の人が履くものって本当かな? この国の民族衣装だとどうかな? 日本の常識 (食事やあいさつ) と違うものを見て比較してみよう 国内でもさまざまな文化があり、国境関係なく共通する文化もあること、を補足する。	写真 2, 3 枚 日本人男性が浴衣を着ている写真 スコットランド男性がスカート状の形が特徴的な伝統衣装「キルト」を着ている写真	一方的に話さないようにする
休憩 (10分)	(チャイムあり)			準備がない人は、積極的に生徒と遊ぶ

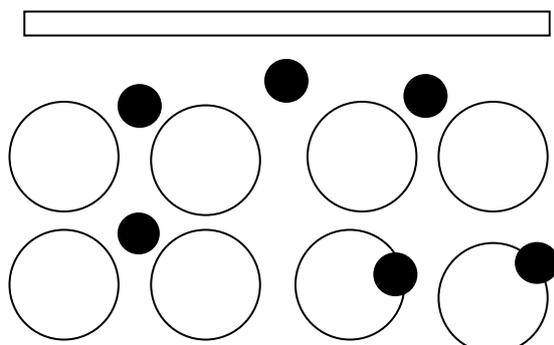
<p>展 開 (40 分)</p>	<p>グループワーク① 男女別に分かれ「男/女とはこういう人だ」というステレオタイプがあることを発見する。 出た意見を発表</p> <p>グループワーク② 初めのグループに戻り、話し合う。</p> <p>グループワーク③ ・不用意に相手を傷つけないためには何が必要なかをグループで考える</p>	<p>「男らしさ/女らしさ」のイメージを挙げてみよう！ ステレオタイプは偏見のもととなる考え方です。偏見というのは・・・、と説明。</p> <p>グループワーク①で出した意見、言葉は真実かな？ イメージと違う男子/女子を知っているか？ →必ずみんなが、男/女のイメージ像に当てはまるわけではない。</p> <p>もし相手のことをよく知らないのに、思い込みで接していると、相手を傷つけてしまうかもしれないね 相手を傷つけないためには何が大切なんだろう？ →グループで話し合ってみよう！</p>	<p>ホワイトボード又は 黒板</p> <p>模造紙、ペン</p>	<p>生徒の意見を聞きだし、書きまとめる。</p>
<p>まとめ (5 分)</p>	<p>出た意見の発表</p>			

5：会場のセッティング

6、4、5人1チーム 計8チーム

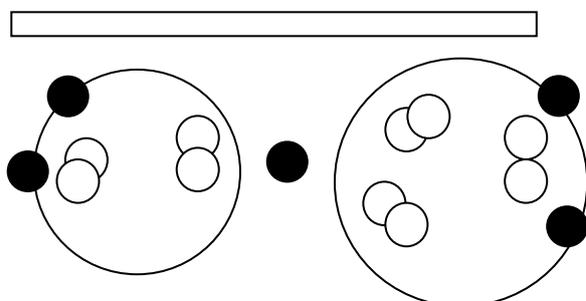
● インストラクター

(基本) 男女均等に混合したグループ、男子のみのグループ (女子のインストラクターが付く)



(グループワーク②の時)

男女に分かれ、その中で二人組になる。



6：使用する教材

写真

ポストカード

模造紙

ペン

ホワイトボード又は黒板

ストップウォッチ

6：参考にした資料

インストラクターDVD(過去のワークショップを参考にしました)

7：その他

中学生が楽しめるような雰囲気作りが出来るよう頑張ります。